

◎議会報告

テーマ 東山地区産業廃棄物最終処分場の建設計画について

Q1 市民

- ・東山地区にある、安定型処分場から出る排水の濃度が高いし臭いもある。水田、ぶどう園、水道水への汚染が心配である。処分場建設についての各議員の賛否を聞きたい。

A 金子議員

- ・この場での賛否の表明は控えたい。

A 丸山議員

- ・6月議会の審査に生かしていきたい。

A 横沢議員

- ・大きな水盆があり水源地として大切である。

A 永田議員

- ・生活環境課に依頼しきちんと調査をしたらどうか。

Q1 市民

- ・風評被害につながるので真剣に検討されたい。（要望）

Q2 市民

- ・活断層があり地震が心配であり、この上に造るのはいかがなものか。被害が起きたときは、県が対応してくれるのか。

A 中村議員

- ・許認可権は県にある、皆さんの思いをどうしたら反映できるのか、検討していきたい。

A 横沢議員

- ・地震の確率が高くなっている。専門家に依頼し、調査、検証をお願いしている。それを参考に協議していきたい。

Q2 市民

- ・市として万全を期すよう追加意見を上げてほしい。（要望）

Q3 市民

- ・許認可権は県にあるが、宮田村では村長との協議と同意が必要な条例をつくった。塩尻市議会でも同じような条例ができないか。

A 中村議員

- ・宮田村の条例については詳しく承知していない。市・議会として何ができるか、今後の検討課題とさせていただきたい。

Q4 市民

- ・安定型処分場に、アスベスト含有建材が埋められており、みどり湖区周辺に、アスベス

トが浮遊している疑いがあるので議会で対処してほしい。

A 金子議員

- ・アスベスト含有建材の持ち込みは会社が認めている。

A 古畑議員

- ・アスベストは中皮がんの基であり危険と認識している。飛散の状況について、調査が可能なのか生活環境課に検討を要請していく。

Q5 市民

- ・議会として管理型、安定型処分場について、住民、タケエイ両者の意見を聞く機会を設けてほしい。

A 中村議員

- ・基本的なことについて勉強会を開いた。請願が出された中で判断をしていきたい。建設の是非について議会は判断できない。

Q6 市民

- ・処分場で、災害が起きた場合被害を受けるのは市民である。議会はどう責任を取るのか、また下水道に雨水を流すことはできるのか。

A 丸山議員

- ・災害が起きた場合の責任については、議会して判断はできない。

A 横沢議員

- ・雨水を下水道に入れることはできない。

A 中村議員

- ・下水道に接続できなければ河川に放流することになるので、難しい判断を迫られるのではないか。

Q7 市民

- ・管理型処分場に100mmの雨で1700トンの汚水が出るので、水が溢れる可能性がある。このことについて議会に説明したいので聞く機会を設けてほしい。

A 丸山議員

- ・機会を設けるようにしていきたい。

Q8 市民

- ・下水道への接続について、地元同意の範囲はどこか。

A 金子議員

- ・議会としての答弁は控えたい。行政側に問いただしていく。

Q9 市民

- ・下水道に安全な水がながれていくのか心配である。接続についてはしっかり検討して欲しい。エコセメントの泥練りについて調査をして欲しい。

議会もタケエイに立ち入り調査をして、安定型処分場の何箇所か試験掘りをしてほしい。

A 横沢議員

- ・下水道への流入は基準に合わないものは入れることはできない。

A 丸山議員

- ・セメントの件はわからないので、わかるところに聞いていきたい。

A 金子議員

- ・疑いだけでは立ち入りは難しい。この件は預かりとさせていただく。

Q 1 0 市民

- ・安定 5 品目を埋め立てていれば何の問題も無いのに、水処理施設があるのはおかしい。議会で立入調査を行い、安定型処分場を掘って何が埋められているか調査をしてほしい。

A 永田議員

- ・議会が立入調査することは非常に難しい。議会として何ができるのか、市の担当課と協議していく。

Q 1 1 市民

- ・定期的に立入検査ができる体制を作ることが大切である。議会として立ち入ってもらうよう要望する。

A 金子議員

- ・県は立入検査をしている。市議会の立入調査については預かりとさせていただく。

Q 1 2 市民

- ・請願は個人でもできるのか。産廃施設を作らせない条例をつくってはどうか。

A 金子議員

- ・紹介議員があれば出すことができる。

A 中村議員

- ・条例で規制することはできないが、議会として何ができるのか検討課題とさせていただく。

A 永田議員

- ・請願がなくとも議会として意見書は出すことができる。

Q 1 3 市民

- ・市の将来を考えて議会として地域住民のために一歩踏み出してほしい。

A 丸山議員

- ・議会として、住民の意見をしっかり受け止めて、できることから取組んでいきたい。

A 永田議員

- ・これからの反対運動を盛り上げていくには、各戸の反対署名を集めることが必要ではないかと思う。

Q 1 4 市民

- ・諏訪重機の埋立てオーバーを市は指摘できなかった上に、搬出にも立ち会うことも出来なかったと聞いている。当時の状況はどうだったのか。

A 金子議員

- ・搬出物について市側からの説明はなく議会で取り上げられることもなかった。

Q 1 4 市民

- ・議会でも地域の環境を守ってほしい。(要望)

Q 1 5 市民

- ・処分場建設に向けて話が進んでいるように思う。塩尻市は交通の便が良いので全国からゴミが集まってくる。管理型処分場はだめだと市議会と言ってほしい。

A 金子議員

しっかり受け止めていきたい。

Q 15 市民

・平成 18 年に管理型の提案があったが反対をしてきた。

昨年タケエイから説明があり委員会として真剣に検討してきた結果、環境面において様々な問題があり建設には反対である。

6 月議会に反対の請願を出すので採択していただきたい。(要望)

Q 16 市民

・会社側は中を見せないし資料も開示しないので不安でいっぱいである。

A 永田議員

・議会は住民側にたって出来るだけのことはやっていく。県に行って地元の実情を説明することが大事である。立地不適切であるとの証明をきちんとすべきである。